



メタリックマシリーズ 愛と激突 / 久保田清人



Grow Ups / Renée Reijnders

若手の展覧会企画者を対象とした「New Creators Competition 2010」において選出された、2組の審査員特別賞の受賞作品をご紹介します。

会 期：2010年3月6日(土)～27日(土)(日・祝日休み) 入場無料
 開場時間：10:00-20:30
 会 場：静岡市クリエイター支援センター 3F
 主 催：静岡市クリエイター支援センター
 CCC(The Center for Creative Communications)
 関連企画：ギャラリートーク(無料/要予約)
 2009年3月6日(土) 13:00-14:30/Renee Reijnders
 15:00-16:00/久保田清人



メタリックまシリーズ 愛と激突

企画者:久保田清人(静岡市)

<プロフィール> <主な展覧会>
 1984年 静岡市清水区生まれ 2008年 「久保田清人展」伊勢現代美術館
 2007年 名古屋造形芸術大学卒業

<コンセプト/久保田清人>

何処へ行く?—もともと鑑を作るために編んでいた座金、それが何故“くま”という形をとるようになったのか、私は最初その変化にとまどった。自分自身、座金は鐘のインナー(鎖かたびら)として使うことしか頭になかった。そもそも余った座金で何か作ってみようと思ったのがはじまりである。ちょうど形がわかりやすいし熊でもやってみるかと思ってしまったのだ。作って見ると以外に楽しい。かたびらを編んでいた時とは明らかに違う何かが生まれた。座金にこんな使い方もあったのかと新鮮な喜がそこにはあった。きっと素材が教えてくれたのだろう。そういえば鐘を作り初めた頃は「ゲリスリースーツ」のことをよく考えていた、「ゲリスリー → ヒグマ → くま」と鑑とくまとは関係ないようで実はあったのかもしれない。何はともあれ今回は“くま”が主役のくま展にしたいと思う。新鮮な驚きと可能性をくれた熊に幸あれ。完

Grow Ups

企画者:Renée Reijnders(オランダ)

<プロフィール> <主な展覧会>
 1974年 ユトレヒト生まれ 2005年 「Design in the Polder」(Flevoland)
 1998年 Faculty of Fine Arts Utrecht卒業 2007年 「Force and Breakfullness」「Kamagurka」
 1999年 Faculty of Art, Media and Technology Hilversum卒業 2008年 「De Selectie」「Grow-ups」「Kerst&Carry」など

<コンセプト/Renée Reijnders >

「Grow-ups」の参加アーティスト達はテレビを見たり、コミックを読んだり、そんな「安心して遊ぶことができる環境」にいた人達だ。展覧会のタイトル「Grow-ups」には、参加アーティストが大人になった今でも、まだ自分で作った安心できる環境でアートと過ごしたい、という意味が込められている。この安全な環境の中での不安は、Wayne Horseの「Elephant Boy」(ビデオ作品)の中でもみられるように、愛されなかった子供は外の世界にある憤りの画像しか映っていないテレビを見たり、性教育をポルノで学んだり、独ぼっちで過ごしている。このビデオには、大人になりたいくない「子供」が持つ安心感に対する気持ちが表現されている。彼らは子供と大人の間の過渡期にずっと居たいと思っているのだ。

<参加アーティスト>

Merijn Hos, Cirque de Pepin, Iris, Ingrid de Lught, Nanna Koekoek, Wayne Horse, Lennard Schuurmans, Mark Verhaagen, Leendert Masselink, Bjorn Eulink, Manumanu